

2019年工業統計調査確報結果に基づく県内製造業の推移

令和2年8月
三重県戦略企画部統計課

1 はじめに

令和2年8月25日に経済産業省から2019年工業統計調査の確報（地域別統計表）結果が公表されました。（「概要」参照）

この地域別統計表データをもとに、「製造品出荷額等の産業中分類の上位6業種」（表1）のうち、「輸送用機械器具製造業」と「電子部品・デバイス・電子回路製造業」について、平成25年から6年間の推移分析を行いました。

※本調査は、従業者数4人以上の製造事業所について集計したものです。

「調査結果概要」

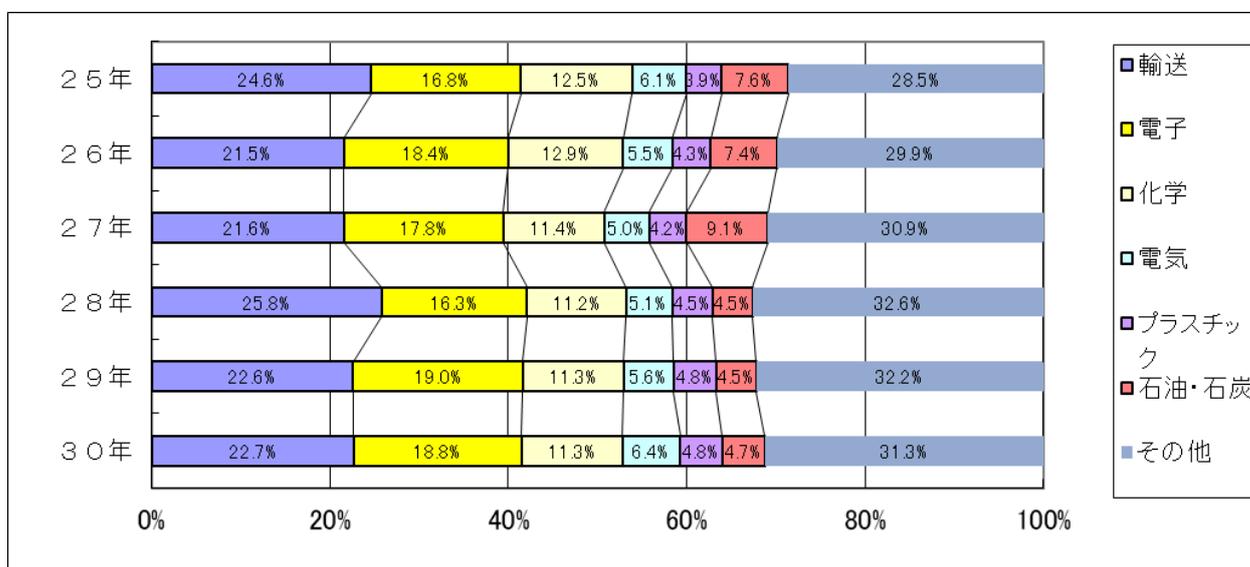
- 事業所数(令和元年6月1日現在)について、全国(185,116事業所、1.7%減)、三重県(3,405事業所、1.2%減、全国20位【前年20位】)とも減少しました。
- 従業者数(令和元年6月1日現在)について、全国(従業者数:7,778,124人、1.0%増)、三重県(204,521人、2.0%増、全国16位【前年16位】)とも増加しました。
- 製造品出荷額等(平成30年実績)について、全国(331兆8,094億円、4.0%増)、三重県(11兆2,079億円、6.7%増、全国9位【前年9位】)とも増加しました。
- 付加価値額(平成30年実績)について、全国(104兆3,007億円、0.9%増)、三重県(3兆5,193億円、3.3%増、全国8位【前年8位】)とも増加しました。

表1 製造品出荷額等の産業中分類別上位6業種の三重県構成比の推移

産業中分類	25年	26年	27年	28年	29年	30年
1位 輸送用機械器具製造業	24.6%	21.5%	21.6%	25.8%	22.6%	22.7%
2位 電子部品・デバイス・電子回路製造業	16.8%	18.4%	17.8%	16.3%	19.0%	18.8%
3位 化学工業	12.5%	12.9%	11.4%	11.2%	11.3%	11.3%
4位 電気機械器具製造業	6.1%	5.5%	5.0%	5.1%	5.6%	6.4%
5位 プラスチック製品製造業	3.9%	4.3%	4.2%	4.5%	4.8%	4.8%
6位 石油・石炭製品製造業	7.6%	7.4%	9.1%	4.5%	4.5%	4.7%

※平成25年から28年まで4位～6位の順位が入れ替わっています。

食料品製造業が28年に5位、27年及び29年に6位となっています。



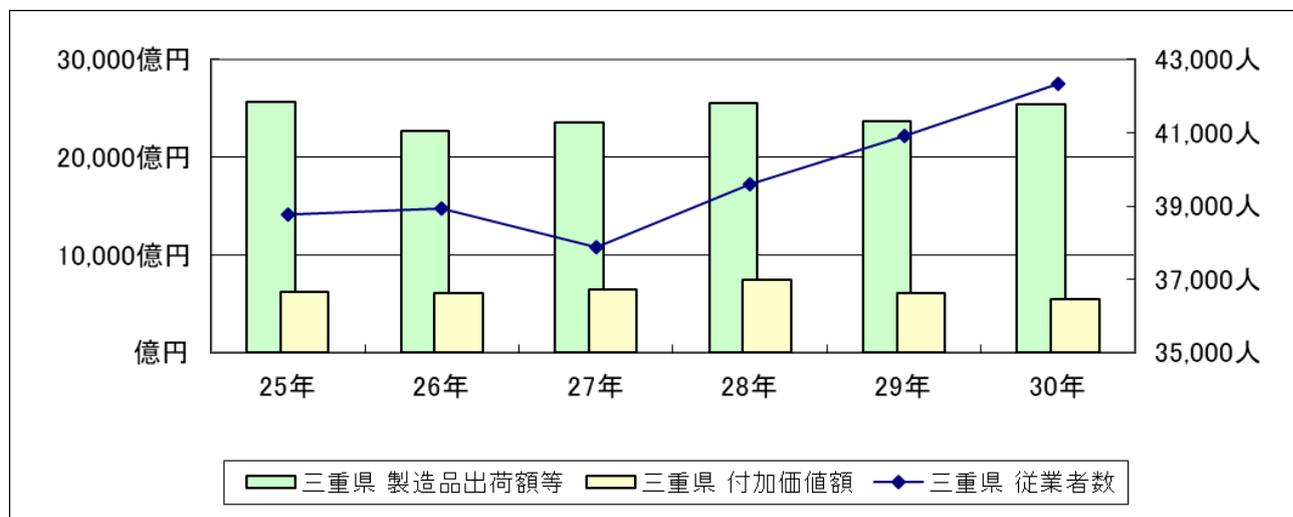
2 製造品出荷額等の産業中分類の上位2業種の推移

(1) 輸送用機械器具製造業

		25年	26年	27年	28年	29年	30年
三重県	従業者数	38,756	38,921	37,870	39,609	40,909	42,325
	(人) 全国順位	7	7	7	7	7	7
	製造品出荷額等	25,647	22,692	23,508	25,500	23,734	25,410
	(億円) 全国順位	5	7	7	7	8	8
	付加価値額	6,236	6,128	6,478	7,467	6,049	5,510
(億円) 全国順位	6	7	6	7	8	10	
全国	従業者数(人)	966,741	980,505	1,041,452	1,057,212	1,083,760	1,093,367
	製造品出荷額等(億円)	582,032	600,633	646,539	651,409	682,635	700,906
	付加価値額(億円)	162,593	167,642	180,286	178,332	187,670	183,470

※付加価値額は、従業者数29人以下は粗付加価値額

※調査基準日が変わったため、従業者数の27年から30年はそれぞれ翌年の6月1日現在の値。



《平成25年からの三重県の動向》

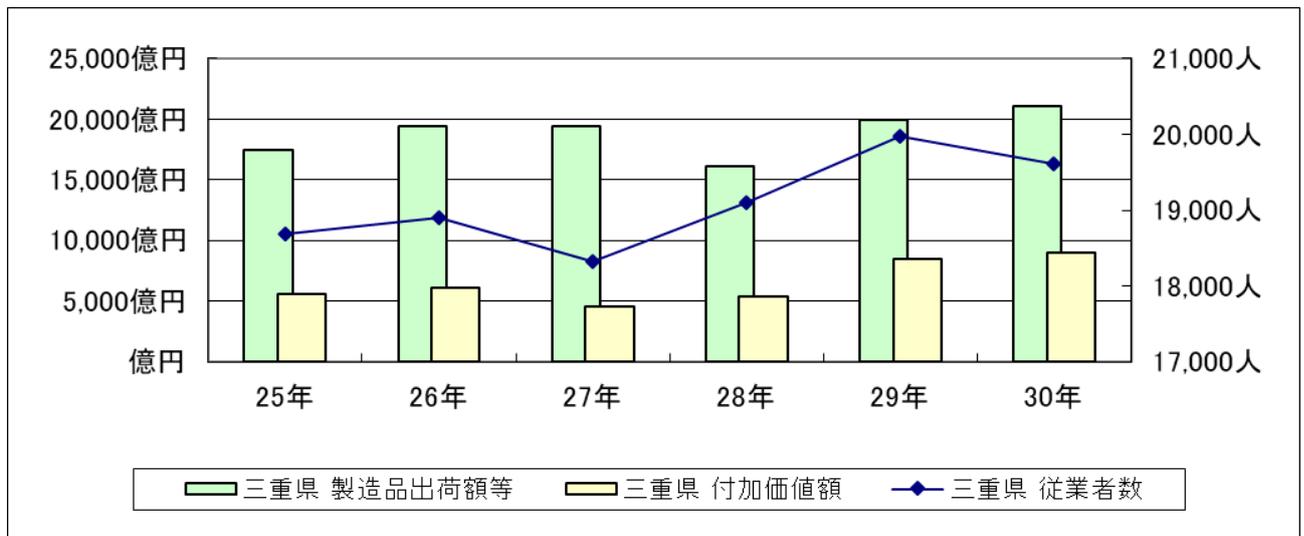
- 細分類で見ると「自動車製造業」、「自動車部分品・附属品製造業」が主体です。
- 従業者数は、3年連続で増加しました。製造品出荷額等は、平成25年以降増減を繰り返していますが、30年は2年ぶりに増加しました。一方で、全国順位は25年の5位から30年は8位に低下しました。
《前年と比べて》
- 従業者数は、全国(0.9%増)を上回る3.5%増(1,416人増)となりました。
- 製造品出荷額等は、全国(2.7%増)を上回る7.1%増(1,676億円増)となりました。「参考:全国1位:愛知県、2位:静岡県、3位:神奈川県」
- 付加価値額は、全国(2.2%減)を下回る8.9%減(539億円減)となりました。「参考:全国1位:愛知県、2位:静岡県、3位:群馬県」

(2) 電子部品・デバイス・電子回路製造業

		25年	26年	27年	28年	29年	30年
三重県	従業者数	18,679	18,894	18,317	19,101	19,972	19,612
	(人) 全国順位	2	2	2	2	2	2
	製造品出荷額等	17,446	19,434	19,428	16,127	19,973	21,071
	(億円) 全国順位	1	1	1	1	1	1
	付加価値額	5,553	6,109	4,510	5,359	8,505	8,997
(億円) 全国順位	1	1	1	1	1	1	
全国	従業者数 (人)	388,209	382,110	381,686	395,551	406,874	414,153
	製造品出荷額等 (億円)	129,434	138,176	147,883	145,316	159,295	161,426
	付加価値額 (億円)	44,187	48,619	52,318	52,121	58,593	60,634

※付加価値額は、従業者数29人以下は粗付加価値額

※3 調査基準日が変更となったため、従業者数の27年から30年はそれぞれ翌年の6月1日現在の値。



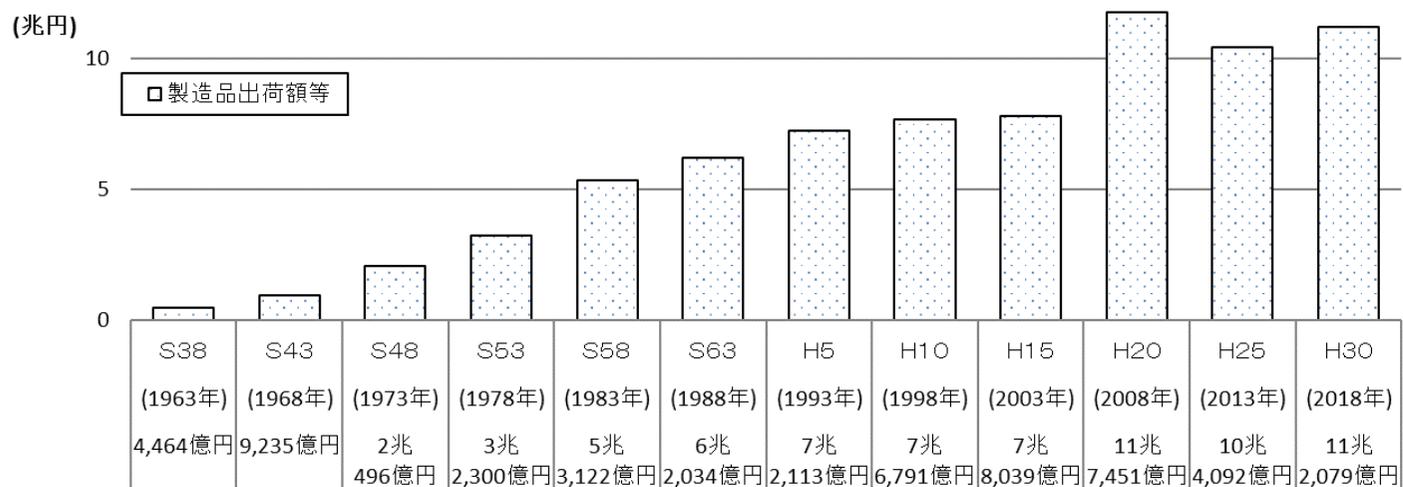
《平成25年からの三重県の動向》

- 平成29年以降2年連続で製造品出荷額等が増加しました。また、28年以降3年連続で付加価値額が増加しました。一方で、従業者数は3年ぶりに減少しました。
- 細分類でみると「集積回路製造業」、「液晶パネル・フラットパネル製造業」が主体です。
- 「製造品出荷額等」及び「付加価値額」は、いずれも全国1位を維持しており、平成30年の三重県の全国シェアはそれぞれ13.1%、14.8%となっています。

《前年と比べて》

- 製造品出荷額等は、全国(1.3%増)を大幅に上回る5.5%増(1,098億円増)となり、付加価値額も全国(3.5%増)を上回る5.8%増(492億円増)となりました。「参考:製造品出荷額等全国2位:長野県、3位:兵庫県、付加価値額全国2位:宮城県、3位:長野県」

参考：三重県における製造品出荷額等の移り変わり



- 製造品出荷額等は、昭和38年から平成30年までの55年間で約25倍になりました。
- 第1位の産業をみると「繊維工業」、「化学工業」、「輸送用機械器具製造業」と変遷しています。(昭和60年代から現在まで「輸送用機械器具製造業」が第1位となっています。)
- 平成30年、第2位の産業である「電子部品・デバイス・電子回路製造業」は、産業分類の改定により、平成14年に「電子部品・デバイス製造業」として新設され、平成20年改正により現在の名称となりました。(主要産業の一つである「半導体集積回路、液晶パネル」が含まれています。)

	S38 (1963年)	S43 (1968年)	S48 (1973年)	S53 (1978年)	S58 (1983年)	S63 (1988年)	H5 (1993年)	H10 (1998年)	H15 (2003年)	H20 (2008年)	H25 (2013年)	H30 (2018年)
	産業中分類名 (構成比)	産業中分類名 (構成比)	産業中分類名 (構成比)	産業中分類名 (構成比)	産業中分類名 (構成比)	産業中分類名 (構成比)	産業中分類名 (構成比)	産業中分類名 (構成比)	産業中分類名 (構成比)	産業中分類名 (構成比)	産業中分類名 (構成比)	産業中分類名 (構成比)
第1位	繊維工業 (19.3%)	化学工業 (19.7%)	輸送用機械器具製造業 (16.0%)	化学工業 (18.1%)	化学工業 (17.2%)	輸送用機械器具製造業 (24.6%)	輸送用機械器具製造業 (23.7%)	輸送用機械器具製造業 (25.5%)	輸送用機械器具製造業 (27.3%)	輸送用機械器具製造業 (25.5%)	輸送用機械器具製造業 (24.6%)	輸送用機械器具製造業 (22.7%)
第2位	化学工業 (17.3%)	繊維工業 (13.5%)	化学工業 (15.3%)	輸送用機械器具製造業 (17.0%)	輸送用機械器具製造業 (15.2%)	化学工業 (14.2%)	電気機械器具製造業 (13.8%)	電気機械器具製造業 (17.1%)	電子部品・デバイス・電子回路製造業 (11.2%)	電子部品・デバイス・電子回路製造業 (20.1%)	電子部品・デバイス・電子回路製造業 (16.8%)	電子部品・デバイス・電子回路製造業 (18.8%)
第3位	食料品製造業 (10.4%)	輸送用機械器具製造業 (10.2%)	繊維工業 (10.5%)	食料品製造業 (9.1%)	石油製品・石炭製品製造業 (12.5%)	電気機械器具製造業 (13.8%)	化学工業 (12.0%)	化学工業 (10.5%)	化学工業 (10.4%)	化学工業 (10.4%)	化学工業 (12.5%)	化学工業 (11.3%)
第4位	電気機械器具製造業 (9.7%)	石油製品・石炭製品製造業 (9.7%)	石油製品・石炭製品製造業 (9.0%)	石油製品・石炭製品製造業 (9.0%)	電気機械器具製造業 (10.3%)	一般機械器具製造業 (7.7%)	一般機械器具製造業 (9.2%)	一般機械器具製造業 (9.9%)	一般機械器具製造業 (8.0%)	石油製品・石炭製品製造業 (6.2%)	石油製品・石炭製品製造業 (7.6%)	電気機械器具製造業 (6.4%)
第5位	輸送用機械器具製造業 (8.9%)	食料品・たばこ製造業 (9.5%)	電気機械器具製造業 (8.6%)	電気機械器具製造業 (7.3%)	食料品製造業 (8.1%)	食料品製造業 (6.6%)	食料品製造業 (6.5%)	食料品製造業 (5.9%)	電気機械器具製造業 (7.8%)	電気機械器具製造業 (5.3%)	電気機械器具製造業 (6.1%)	プラスチック製品製造業 (4.8%)

(参考) 2019 年工業統計調査の概要

1 調査の目的

製造業の実態を明らかにし、工業に関する施策の基礎資料を得ることを目的とします。

2 調査の根拠

統計法（平成 19 年法律第 53 号）に基づく工業統計調査規則（昭和 26 年通商産業省令第 81 号）によって実施される基幹統計調査です。

3 調査の範囲

日本標準産業分類（平成 25 年総務省告示第 405 号）による「大分類 E－製造業」に属する事業所です。

4 調査の期日

2019（令和元）年 6 月 1 日現在（製造品出荷額等、付加価値額などの経理事項は平成 30 年 1 月～12 月の実績）です。

5 調査の種類

- (1) 甲調査・・・従業者 30 人以上の事業所
- (2) 乙調査・・・従業者 4 人以上 29 人以下の事業所

6 主な集計項目の説明

- (1) 従業者数は常用労働者、個人事業主、無給家族従業者、パート・アルバイト、出向・派遣受入者の合計です。
- (2) 製造品出荷額等は製造品出荷額、くず及び廃物の出荷額、加工賃収入額、その他の収入額（修理料収入等）の合計です。
- (3) 主な用語の算式は、次のとおりです。
 - ・付加価値額＝製造品出荷額等＋（製造品年末在庫額－製造品年初在庫額）＋（半製品及び仕掛品年末価額－半製品及び仕掛品年初価額）－（推計酒税、たばこ税、揮発油税及び地方揮発油税＋推計消費税額）－原材料使用額等－減価償却額
 - ・粗付加価値額＝製造品出荷額等－（推計酒税、たばこ税、揮発油税及び地方揮発油税＋推計消費税額）－原材料使用額等